TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エフェソの信徒への手紙 - 恵みのスペクトル 忘れられた将来
エフェソ 1:11-14

2025 年 6 月 28 日 & 29 日
ジェシー・マーク・セザリオ 牧師

ご挨拶
TBC ウエストトウキョウ、TBC 三郷、スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会など、私たちと一緒に礼拝してくださっている皆さんにご挨拶申し上げます。天の父である神と主イエス・キリストの恵みと平安が皆さんと共にありますように！
祈りましょう。

エフェソ 1:11-14
11 キリストにあって私たちは、御心のままにすべてのことをなさる方のご計画に従って、前もって定められ、選び出されました。12 それは、キリストに以前から希望を抱いている私たちが、神の栄光をほめたたえるためです。13 あなたがたも、キリストにあって、真理の言葉、あなたがたの救いの福音を聞き、それを信じ、約束された聖霊によって証印を受けたのです。14 聖霊は私たちが受け継ぐべきものの保証であり、こうして、私たちは神のものとして贖われ、神の栄光をほめたたえることになるのです。

はじめに
子供の頃、ロードアイランド州のチャールストンにあるキャンプ・デイビスというサマーキャンプによく行っていました。

一週間宿泊するキャンプで、ロードアイランド・ボーイズ・アンド・ガールズ・クラブの子供たちが親元から離れて参加するものでした。大きなキャンプ場で、森の真ん中にあり、釣り、カヌー、ハイキングなど、できることがたくさんありました。そして、10 代後半の若者たちがキャビン・リーダーとしてそこで働いていました。VBS のクルーリーダーみたいな人たちですね。

つまり、都会の子供たちが多く参加していて、それはボーイズ・アンド・ガールズ・クラブという組織が運営していました。そのクラブの目的は、子供たちが一緒に時間を過ごし、悪い遊びに巻き込まれないような場所を作ることでした。しかし、ご想像の通り、子供たちはよく問題を起こしていました。

ある時、私はグループの中で最年少でした。その日、私のグループは湖に降りてカヌーに乗ることになっていました。しかし、キャビン・リーダーは湖に着く前にこっそりタバコを吸いたかったようです。それを隠すために、リーダーと残りのみんな—リーダーと一緒にタバコを吸いたかったのか—は道を外れて森の奥深くまで歩いて湖に向かいました。

20 分ほど経ち、タバコ数本ののち、案の定私たちは森の中で完全に迷子になりました。歩きながら、蚊に刺されたり、枝につまずいたり、1 時間以上も怖い思いをしました。

疲れてきて、何人かの子供たちと一緒に岩の上に座って、カヌーには乗れないんだろうなと考えていたのを覚えています。

ついに誰かが湖への道を見つけました！機嫌が直り、そこにたどり着くのが楽しみでした。しかし、到着した頃にはカヌーに乗れる時間が過ぎていました。とてもがっかりしました 。

私たちクリスチャンの多くは、残念ながら、このような経験をしています。気が散ってしまいます。つかの間の喜びを追い求め、神と神の体である教会から離れてしまいます。そして、時には、つかの間の楽しみを追い求めている他の人と一緒に行ってしまい、うっかり離れてしまうこともあります。

どちらの場合にも、暗闇の中にいて、交わりを失い、不安でいっぱいになってしまいます。

今日の聖書箇所の前のエフェソ 1:3 でこうあります。「私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し、」

私の質問はキリストにある皆さんに対してです。あなたは今どのような状況にいますか。あなたは道を進んでいますか、それとも森の中で迷子になり、良くない方向に向かっている人たちと一緒にいますか。

私たちが聖霊と歩調を合わせ、神の約束の中を歩むとき、私たちは今、ここで天国からの霊的な祝福を楽しみます。

そして、私たちがクリスチャンとして持っている問題の一つは、天の祝福は天からのみ生じると思い込んでしまうことです。天からの祝福は、今ここで現実に影響を与えることを目的としていることを忘れないでください。

愛は究極的な祝福です！

なぜなら、誰かがあなたを愛で祝福するとき、それはその人が天から受けた恵みのゆえにそうしているからです。また、愛することでフィードバックが帰ってくるため、しっかりとした土台の上にいることがわかります。

もし私たちがキリストとその体から離れると、不安定さと不安を得るだけで、つかの間の快楽のほうに漂流します。

ジョニー・キャッシュが「Hurt」のカバー（ちなみに素晴らしい歌です）で歌っているように、これらの世俗的なつかの間の喜びは、泥の山です。

何人かは、このことを理解しています。しかし、他の人にとっては、あまりにも長い間、道を踏み外してきました。礼拝で座っているだけで天の祝福を体験することができると思わないでください。そういうことではありません。

ここに目を覚ます時が来た人もいます。そして、若い人たちは、気を引き締める時が来ました。今こそ、私たちは自分自身を捧げ、神を信頼して、キリストとその体である教会からくる地上と天の祝福につながる道を歩むことに専念する時です。

受け継ぐべきもの

パウロが使う表現と文法は 11 節ではっきりしています。キリストにあって、今、私たちは受け継ぐべきもので祝福されています。

多くの人は、その今受け継ぐべきものは何なのかとすぐに飛びつくと思います。もしかしたら、私たちはそれを恵みや愛、永遠の命だと思うかもしれません。それらは素晴らしいことですが、同時にそれ以上のものです。 私たちは主との関係において還元主義的になることを避けなければなりません。還元主義者にケーキを見せると、ケーキを小麦粉、砂糖、卵、バターを焼いて固形にしたものに見えます。

店員がデザートをこのように出すなんて想像できますか。「デザートいかがですか？小麦粉、砂糖、卵、バターを固形にして焼き上げています。おいしいです！」。私たちは「結構です！」って答えるでしょう。

何かをバラバラに考えてしまうと、実際には何が起こっているのか、よく見えなくなります。これを把握することが重要です。主が私たち一人一人のためになさったこと、なさっていること、そしてこれからなさることの全体像を把握することが重要です。

パウロはエフェソの信徒への手紙の冒頭から忘れてはならないと言っています。あなたがたは救われましたが、それ以上のものがあることを忘れてはいけません、と。

パウロがエフェソの信徒への手紙で描いていることは単純なものではありません。それはまるでダリの絵画のようです。複雑で、絡み合い、象徴的で、恐ろしいほど気が遠くなるほどで、美しく、古典的で、そして未来的です。それが全部同時にそうです。

覚えていますか。エフェソの信徒への手紙では、パウロは私たちの状態についてこう書いています。
キリストにあって…
4-6 節:神の恵みによって、私たちは選ばれ、聖なる傷のない者とされ、神の子にされています。
6-7 節:神の恵みによって、私たちは贖われ、赦しを得ています。
8-10 節:神の恵みによって、御心の秘儀を知らされ、神の計画の一部に加われています。これはあらゆるものがキリストのもとに一つにまとめられているためです。

そしてパウロは続けます。
11-14 節:あらゆるものを支配しているキリストにあって、私たちは保証され、受け継ぐべきものがあり、聖霊によって証印を受けています。これは今からイエスがご自分のものである私たちのために戻ってくるまでです。

これは、私たちが待ち望んでいる栄光の日です。私たちの王と顔を合わせ、受け継ぐべきもの、つまり永遠の王国での居場所を与えられるのです。

しかし、これらすべてをここ(心)とここ(頭の中)に常に、ずっと保持するのは難しいです。

パウロ自身も、これ以上のものが来ること、神の御心のままにすべてのことをなされることを知っていました。

<u>あなたはどうですか。</u>

キリストにあって、今ここに、そして天国に受け継ぐべきものがあると希望をもっていますか。

難しいことです。でもなぜ難しいのでしょうか。理由をしりたいですか。私たちが待たないといけないからです。

エフェソの教会にとって待つのは大変だったと思いますか。世代を重ねるごとに、ますます難しくなっています。考えてみてください、印刷機が登場する前は、本の作成には数か月または数年かかり、小さな農場と同等の費用がかかりました。印刷機の登場直後、本の値段は給料ひと月分ほどでした。今日、私たちは数秒で一時間未満の賃金で本を何冊も買うことができます。私がここで説教している間でさえ皆さんに知られずにできます。

この世代は、待つことに対して大きな問題を抱えています。そして、その問題により、私たちは簡単に気が散ってしまいます。

だからパウロは私たちに思い出させようとします。まるで見始めるとオチを待たされるショート動画のように、クリエイターのパウロは最後まで集中を切らしてほしくないのです。必ずオチがくるからです。

パウロはある意味、時代をはるかに先取りしていました。そしてここで、「待って、待って！あなたには受け継ぐものがあって、それが約束されています。待ってください！」

パウロは、あなたが何を経験していても、どんな困難な時期が来ても…待ってください、来ています…と知って欲しいのです。

パウロは、あなたが経験しているチャレンジ、困難、挫折、霊的な攻撃、そして損失が依然として神の壮大な計画の一部であることを知ってほしいと願っています。あなたが経験しているものは何も偶然ではないということです。そして、世界が大騒ぎになっても心配する必要はありません。すべてのことは神の御心によってなされます。

それが信頼の意味です！

ローマ 8:28
28 神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、万事が共に働いて益となるということを、私たちは知っています。

28 節は次に来る 29 節のケーキの上のクリームです。クリスチャンは、神に前もって知られており、御子のかたちに似たものにされるように定められています。

ローマ 8:29 前半
29 神は前もって知っておられた者たちを、御子のかたちに似たものにしようとあらかじめ定められました。…

これが信頼のすべてです。あなたはいずれたどり着きます。

しかし、現在ある救いにとどまる必要があります。

<u>私たちの救い</u>

私たちは何のためにイエス・キリストを信頼してきたのでしょうか？私たちはその答えを知っていますよね。これは福音を信じるためです。

シンプルなメッセージで、本質的にはこれです:

問題:私たちは皆、罪深いため、聖なる神から当然離れています。私たちは自分の努力によって自分自身を救うことはできません。

解決策:神は、その愛のうちに、御子イエス・キリストを遣わされました。彼は私たちにはできない完璧な人生を生き、私たちが受けるべき死を遂げ、十字架で私たち自身の罪に対する罰を受けました。

勝利:イエス・キリストは葬られ、3 日目によみがえり、罪と死に対する彼の勝利を証明し、彼のすべての主張を立証しました。

招待:救いは、現在、イエス・キリストに信頼を置くすべての人への無料の贈り物として提示されています。

まず、これらのことは今ここで、すべて真実です。

<u>別の問題</u>

何が問題なのでしょうか。それは私たちが忘れてしまうことです。あなたは忘れてしまいます。

私たちは信頼することをやめてしまいます。私たちは退屈して泥遊びを始めます。なぜなら他に何もすることがないからです。

KiDZ Church があるのはこれが理由です。なぜなら、KiDZ ミニストリーがなかったら、彼らの日曜日はどうなっているでしょうか。考えてみてください。何年もわたって毎日曜日に、21 世紀に、教会の壁に囲まれて、椅子に座って塗り絵や宿題をした後、それが彼らにとっての教会になります。

彼らは、「教会は私が椅子に孤立して座らされて、退屈から逃れようとした場所だった」と思いながら去っていきます。教会=退屈で、泥遊び=楽しい、になってしまいます。

大人にも同じことが起こります。そう、あなたのことです。あなたにも同じようなことが起こります。

毎週毎週、何年もあなたはそこに座っています。いくつかの賛美を歌い、いくつかの祈りを聞き、いくつかの聖書の洞察を得て、あなたは家に帰ります。

そして、問題はこれです:あなたは教会をサービスとして見てしまいます。教会はサービスではなく、主を礼拝する人々の集まりです。

もし私たちが教会の外でスモールグループの一部でなく、教会内でミニストリーの一部でなければ、次第に泥遊びが良い選択肢に見えてきます。そして、私たちの多くがその地点に到達していると思います。もしかしたら、これが今のあなたかもしれません。

気づいてください。礼拝堂で起こることがすべてではありません。教会は、この部屋の中とこの部屋の外で起こることです。

恵みは多面的であり、恵みは反射的であり、それはあなたからも跳ね返る必要があります。

宝石が回転して光を反射すると、なんと美しいのでしょう。

パウロが聖霊の証印が押されていることについて語ったのは、このためです。
聖書が私たちの救い、キリストにあって私たちは誰であるか—つまり教会—について何と言っているのか注意を払ってください。

パウロは「あなたがたも、キリストにあって、真理の言葉、あなたがたの救いの福音を聞き、それを信じ、約束された聖霊によって証印を受けたのです。」と言いました。

ギリシャ語の「あなたがた」の代名詞(ὑμεῖς, hymeis)と「証印を受けた」の動詞はどちらも複数形です。

パウロは、みんなが日本の個包装されたクッキーのように、個別に証印されたと言っていません。

エフェソの教会のクリスチャンを一つの集合体として語りかけています。その言葉の表現は、「あなたがた教会は、一つの体として証印された」というニュアンスです。私たちは個包装のクッキーではなく、ひとつのケーキです。

私たちは教会を家族として見なければなりません。でなければ、自分の救いの過去、現在、将来の目的を見逃してしまいます。

<u>約束</u>

ギリシャ語で約束という言葉 14 節で arrabōn です。それは単に約束を意味するのではなく、頭金、契約金、私たちの将来を保証するための分割払いの最初の支払いです。

それを信じた、過去形、と言っています。そして今、現在、約束の聖霊によって証印されています。聖霊は、将来、私たちが受け継ぐべきもの保証するものです。

過去を現在からも将来からも切り離すことはできません。

何よりも、プロセスは開始した瞬間に完了しているため、切り離せません。

私たちは始まりと終わりに焦点を当てる傾向があります。しかし、真ん中はあまり注目されません。

なぜそうなるのかというと、誰が私たちを義とし、誰が私たちに栄光をきせるのかはっきりと知ってはいますが、聖化の部分については多くの混乱があるからです。

私たちが誰であるかを理解していないからです。

14 節を一緒に見ましょう。
14 聖霊は私たちが受け継ぐべきものの保証であり、こうして、私たちは神のものとして贖われ、神の栄光をほめたたえることになるのです。

その聖書箇所で私たちはどこに当てはまりますか。私たちは「神のものとして贖われ」たものです。

私たちはここで過去と現在を結びつけなければなりません。それは私たちの将来を示しているからです。

購いはすでに起こったことであり、教会である私たちは現在、将来の贖いのためにイエス・キリストの所有物として証印されています。

使徒言行録 20:28
28 どうか、あなたがた自身と羊の群れ全体とに気を配ってください。聖霊は、神がご自身の血によってご自分のものとなさった神の教会の世話をさせるために、あなたがたをこの群れの監督者に任命されたのです。

つまり、あなたの過去はあなたの将来です。そして、その間に起こることも必ず起きます。あなたは聖化されます。そして、救われている私たちにとって、聖化しているのは、私たちの罪深い自己ではあり得ません、聖書は次のように言っています。

1テサロニケ 5:23-24
23 どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊と心と体とを完全に守り、私たちの主イエス・キリストが来られるとき、非の打ちどころのない者としてくださいますように。24 あなたがたをお招きになった方は、真実な方で、必ずそのとおりにしてくださいます。

聖書はフィリピ 2:12 で「自分の救いを達成するように努めなさい」と書かれていませんか。はい、そう書かれています。しかし、そのすぐ後に来る聖書箇所にパウロはこう書いています、「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。」

1ペトロ 2:4-5
4 主のもとに来なさい。主は、人々からは捨てられましたが、神によって選ばれた、尊い、生ける石です。
5 あなたがた自身も生ける石として、霊の家に造り上げられるようにしなさい。聖なる祭司となって、神に喜んで受け入れられる霊のいけにえを、イエス・キリストを通して献げるためです。

<u>結論</u>

では、信頼とは、待っている間、いまここで、私たちにとって何を意味していますか。すべて、です。

ペテロは私たちを、神に選ばれた「生ける石」であり、「尊い」と呼んでいます。

私たちはただの石ではありません。キリストの贖いによって、私たちは宝石です。あなたが何者であるかは問題ではありません。それはキリストを信じたときに解決しました。

原石は輝かず、価値もありません。磨かなければなりません。真の価値が見える前に、切ったり、削ったり、磨かれたりする必要があります。

教会の皆さん、これが教会の聖化のプロセスです。

試練、困難、神を信頼することしかできない瞬間、すべてが崩壊していくとき、神は私たちを無視しているわけではありません。

それは、私たちを磨く名工である神です。神は不純物を削り取り、私たちに正確な面をつけ、キリストにある私たちがより美しくキリストを表すことができるようにしています。

それは大きな問題です:私たちは救われ続けているにも関わらず、信頼し続けません。

研磨剤は不快なので、私たちは逃げてしまいます。その圧力は私たちを形作るのではなく、私たちを押しつぶすためのものだと考えてしまいます。神の手を信頼するのをやめてしまいます。

しかし、この部屋を見回してみてください—途中まで磨かれている周りの宝石を見てください。私たちは、孤立した宝石、隠されるような存在ではありません。神は私たちを霊的な家として建てておられます。

完璧に磨かれた宝石で満たされた部屋の栄光を想像してみてください。光が当たると、1 つの宝石だけから輝くわけではありません。宝石から宝石へと跳ね返り、まばゆいばかりの輝きを放ちます。

これがキリストの栄光を表す勢揃いした教会の状態です。この世の価値によってではなく、キリストの贖いによって生まれた価値です。

それが私たち、栄光の反射器です。それがここで今、私たちの目的です。

礼拝中に礼拝をし、互いに仕え合い、良い知らせを分かち合うとき、集まるとき、そしてスモールグループで啓発し合う時、皆さんはキリストの光を互いに反射しているのです。そして、その反射が再びあなたを照らします。

そして、それは外の世界へと輝きます！

それは彷徨って迷子になった人を森から、泥の中から導くためのとっておきのしるしです。

では、今日の適用とメッセージは次のとおりです:今日、あなたを磨いているものは何ですか。

キリストにあって、あなたは彼を信頼してきました。今もなおキリストを信頼し続けてください。

過去の義認も、将来の栄光も忘れないでください。なぜなら、それはキリストにある現在の勝利とすべて関係しているからです。

キリストを信頼してください。あなたは乗り越えるでしょう。キリストの約束は、その日に、保証されたように、あなたはキリストに栄光をもたらし、それは今日、そして永遠に見ることができます。

<u>招待</u>

詩編 37:5-6
5 あなたの道を主に任せよ。／主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。6 主はあなたの正義を光のように／あなたの公正を真昼のように輝かす。

神の御子イエス・キリストを信頼し、信じて永遠の命を求めるなら、その瞬間、古いものは去り、新しいものが来るでしょう。それはあなたが義とされたからです。

あなたの罪は赦され、あなたの心は変えられ、それは他の人の前で輝きます。

キリストに信頼してください。そうすればあなたは永遠に安全です。祈りましょう。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2725jp

★クラス 402
キリストの伝え方
6 月 29 日(日)1:00pm – 4:00pm
場所: カンファレンスルーム
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9 月 7 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的に成長するために
9 月21日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

日本語訳レイアウト&印刷（女性 3 名募集）
英語のスキルは必要ありません。
・月 1 回～、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。
連絡先:hiromik@tokyobaptist.org